

5 年生 2 学期のまとめ～重要ポイント解説～

2 学期に学習した以下の単元について、つまずきやすいポイントと指導のヒントをまとめました。

1. 整数（偶数と奇数、倍数と約数）

- » 偶数と奇数：2でわりきれる整数が「偶数」、わりきれない整数が「奇数」。0は偶数です。
- » 倍数と公倍数：「最小公倍数」は分数の通分で必須となります。
- » 約数と公約数：「最大公約数」は分数の約分で必須となります。

指導のポイント

倍数・約数の見つけ方で漏れがないように、「小さい数から順に考える」「ペアで見つける（約数）」習慣をつけさせましょう。

2. 分数のたし算・ひき算

- » 通分：分母がちがう分数のたし算・ひき算では、通分して分母をそろえます。
- » 約分：答えが約分できるときは、これ以上約分できない形（既約分数）にします。
- » 帯分数：繰り上がり・繰り下がりのある計算でのミスに注意が必要です。

3. 平均

- » 公式：平均 = 合計 ÷ 個数
- » 合計を求める：合計 = 平均 × 個数
- » 0が含まれる場合でも、個数（日数や人数など）に含めて計算することを忘れないようにします。

4. 単位量あたりの大きさ

- » こみぐあい： $1m^2$ あたりの人数、または1人あたりの面積で比べます。
- » 人口密度： $1km^2$ あたりの人口。（人口 ÷ 面積）
- » どちらで割るか：「～あたり」の「～」に来る量でわります。これが最大のつまずきポイントです。

つまずき対策：単位量あたりの大きさ

「 $1m^2$ あたりの人数」の場合、単位は「人/ m^2 」となります。分数の形で見ると、分子が「人」、分母が「 m^2 」となるので、「人数 ÷ 面積」と立式しやすくなります。

5. 割合（2）

- » 帯グラフ・円グラフ：全体を100%としたときの各部分の割合を表します。
- » 目盛りの読み取り：1目盛りが何%を表しているか（1%, 2%, 5%, 10%